



ここで暮らせる貝取・豊ヶ丘～明日につなげる地域づくり～

☆新型コロナウイルスの状況下における地域での取り組み

（令和2年9月12日）

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、5月・7月の全体会の開催を見合わせました。全体会を再開した9月には、新型コロナウイルスの状況下における地域での取り組みについて、情報共有を行いました。



自治会・住宅管理組合では、総会をはじめ、団地のイベントを中止している団体が多いようでしたが、中には緊急事態宣言中も感染対策をしたうえで防災会議だけは続けていたという団体があったり、会うことができない分、電話やメールを使ってのコミュニケーションをしていたという方もいらっしゃいました。

☆地域での支え合い～グリーンメゾン鶴牧3の取り組み事例から～

（令和2年11月21日）

第2回全体会では「地域での支え合い」をテーマに、実際に団地の中で見守り・支え合いの取り組みを行っている、グリーンメゾン鶴牧3住宅管理組合の吉岡氏にお越しいただき、取り組みの始まる過程や、その内容について報告していただきました。

コロナ禍で理事会や役員会がストップしている状況の中でも、10日に1度のペースで広報紙を発行し、その内容も団地の住民から募集するなど、会えない中でもつながりを感じられるような工夫が報告されました。



▲吉岡氏（グリーンメゾン鶴牧3）

☆勉強会「感染症と防災」

（令和3年3月24日）

第3回全体会では、「感染症と防災」の勉強会を実施しました。これまでも「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」では、防災をテーマに様々な取り組みを重ねてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの状況を踏まえ、勉強会という形で防災について考えました。また、初の試みとして、永山地区の地域福祉推進委員会とオンラインで繋ぎ、合同開催となりました。



▲当日の様子

当日は、避難所における感染症対策や、在宅避難のポイントについて教えていただきました。

講師の宮崎氏からは、「防災に関する交流会や研修会は1度きりで終わりではない。心配だと感じていることは、ぜひ改善策を考えてみてほしい。個人で出来ないことは団体単位で考えたり、出来ることから取り組んでみてほしい。」とメッセージをいただきました。

☆緑豊かなきれいなまち、貝取・豊ヶ丘



貝取小学校グリーンデー (会田正枝さんよりコメント)

地域の皆さんと一緒に学校の花壇や通学路の整備をしています。地域に開かれた学校を目指し、和気あいあいと楽しみながら活動しています。

昨年はコロナの影響で思い通りにならないこともありましたが、少しでも明るくなるよう花を添えたいと思っています。ぜひ一緒に活動しませんか？



貝取こぶし館緑化クラブ (伊藤房次郎さんよりコメント)

貝取緑化委員会は、貝取コミュニティセンター運営協議会の委員会で、10名の協力委員で成り立ち、こぶし館の屋外の花壇等で美化活動を行っています。

道路交通課のアダプト制度や、公園緑地課から花苗、土等を提供していただいています。



青陵中総合的学習 (相楽校長先生よりコメント)

昨年度から始まった1年生のSTP（商店街をちょっと楽しくするプロジェクト）の2年目の活動です。コロナ禍の中で、先生と生徒がアイデアを出し合って、商店街の清掃活動やお店のCM動画を作成しました。

地域のみなさんの心の潤いになったのならうれしく思います。

貝取・豊ヶ丘のさまざまな場所で緑化・美化の活動が盛んです。これからの季節は暖かい日も増え、お散歩にはぴったりの季節です。まちの花壇スポットを探しに、散策するのも良いですね！おすすめのスポットがありましたら、ぜひ教えてください！

☆令和2年度を振り返って

～令和2年度を振り返って～

健康に害を及ぼすだけでなく、社会活動や地域社会での人のつながりを絶つ巧妙な特性を持つ新型コロナウイルスの出現で、地域社会が翻弄された一年でした。地域の行事・会合が中止となる中、きずな全体会も春には中止としましたが、夏以降はコロナ禍での地域活動に関する情報共有・情報提供に取り組むことが出来ました。

コロナ禍は長い戦いになると危惧されており、出来ること・出来る方法を見つけ出し、きずなの活動を進めていきます。

ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな代表 武内 喜則

ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」は、貝取と豊ヶ丘の地域に関わる活動をしている人々を結び、それぞれの経験・知識・情報を共有することによって、地域の様々な課題の解決を支援する誰でも参加可能なネットワークです。

全体会（定例）：奇数月第2土曜日 10:00～12:00
貝取こぶし館ホール

※約1カ月前に開催通知にてお知らせいたします。